

新政レポート

vol. 14

令和3年1月31日

発行元

舞鶴市議会
新政クラブ議員団
責任者/水嶋一明

私達、新政クラブ議員団は、市民の負託を受けた責任ある議員としての自覚を持ち、活発な意見交換をしながら前に進んでいます。会派制の良さを活かし市民に開かれた議会運営を念頭に、市民の皆様の安心・安全で幸せな暮らしのための努力を惜しみません。今年も、よろしくお願ひいたします。

新政クラブ議員団



「意見書」・「決議」・「附帯決議」への想い

- ◆議会は二元代表制による行政機関の監査役!
- ◆市民の負託を受けた議員の仕事

意見書

地方自治法第99条に規定。市の公益に関することについて国や府などの関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のこと

決議

意見書とは異なり法的根拠はなく、政治的な意味や効果を狙い、議会の意思を対外的に表明する行為のこと

附帯決議

議決された条例・予算案に関して付される、施行についての意見や希望などを表明する決議のこと

緊張感を持つ
議会運営と議員活動が
我々の使命です

委員会に付託された各議案の可決までの経過…

◎舞鶴市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部改正について

付託先 市民文教委員会(委員:眞下、水嶋)

そもそもなぜ改正が必要なのか?どのように変わらるのか?

理由 人口減少なのにごみは増加の一途 → 市民一人一人のごみ減量の意識が低い
焼却施設の老朽化で管理費がどんどん嵩む → 焚却炉更新と処理する人件費加算
令和3年7月から変更 → あと半年で市民の理解を得られる必要性

変更内容 ◎ごみ袋の新設 → プラ・ペットボトル分別ごみ袋の有料化
◎搬入料金の有料化 → 集積場に出さずに直接搬入件数が増加

【附帯決議の意味】市民への十分な変更への準備が必要!課題をクリアすること

◎多世代交流施設条例制定(仮称 まなびあむ)について

付託先 福祉健康委員会(委員:水嶋、今西)

子どもから高齢者までの全ての市民の世代を超えた幅広い交流及び社会的活動への参加を促進し、もって心豊かに暮らすことのできる地域社会の形成に資するため設置する。

福祉健康委員会と市民文教委員会の合同で、「高齢者福祉を充実させ「新しい文庫山学園」を求める請願」を審査…不採択



◎高浜発電所1、2号機の再稼働について

付託先 原子力防災・安全等特別委員会(委員:眞下、田畠)

【請第5号】高浜発電所40年超えの1、2号機再稼働の請願 ………………採択
【決議第2号】高浜発電所1、2号機の再稼働に関する決議 ………………可決
【意第5号】関西電力(株)高浜発電所1、2号機の再稼働に係る意見書……………可決



9月 定例会

会期(35日間)

9月2日～10月6日

出番表

9月14日 … 代表質問 4番・今西克己
9月15日 … 3番・眞下隆史 / 8番・野瀬貴則
9月16日 … 12番・水嶋一明 / 16番・田畠篤子 /
17番・上野修身
10月6日 … 意見書討論・田畠篤子 / 本会議討論・今西克己
(最終日)



YouTube
映像配信あり

代表質問
今西 克己

本市の財政運営を問う



[質問] 多々見市長は、年度当初、市政運営に当りこのように所信の一端を述べられた。「地方創生の原点は、このまちに住む市民がまちに愛着と誇りを持つことが最も大切であるとともに、このまちで生まれた子どもたちが、ふるさと舞鶴の豊かな自然、文化、歴史を知りこのまちを好きになり、住み続けたいと思ってもらえるまちづくりに取組んでいく。市民と行政が共に未来に向けたひとづくり、まちづくりに取組む未来を拓くまちを目指し、これまで担ってきた日本海側における国防、海の安全、エネルギー、ものづくり、観光の拠点や、リダンダンシー機能などの重要な使命・役割を果たしていくことのできる国際交流・港湾都市舞鶴であり続けることを目指していく」と、述べられた。

そのような熱い市長の思いの中、令和元年度の財政運営は、新たな技術を導入した未来型のスマートなまち、心が通う便利で豊かな田舎暮らしができるまちを目指し、様々な事業に取組まれたことを高く評価するが、厳しい予算事情の中、市長は令和元年度の財政運営について、どのように総括されているのかお伺いする。

[答弁] 私は、本市の財政環境を踏まえ、「得られた財源で最大の効果を発揮させる」との方針のもと、歳入予測に基づき各部局の歳出予算枠を設定する、いわゆる枠配分方式を基本とし、事業の優先度を考慮しつつ、各部局の自主性と創意工夫を働かせた戦略的な予算編成を行い、数々の事業に取組んできた。

令和元年度決算における本市財政の現況については、一般会計の経常収支比率は、93.9%となり、固定資産税が減少する一方で市民税等は増加となり、基幹収入である市税の増加など経常的一般財源の増加に加え、企業会計への補助をはじめとする補助費や、物件費の減少、また、時間外勤務の削減等による人件費の抑制など、これまでから取組んできた行財政改革や働き方改革の効果による経常的経費の減少などもあり、平成30年度比で1.7ポイント改善したところである。

私は、日々、本市を取り巻く情勢を見据え、財政運営の基本は財政の身の丈を踏まえ、得られた財源の中で創意工夫を凝らし最少の経費で最大の効果を発揮されることであると考えており、その実現に向けて市長就任直後から債権管理や公共施設マネジメント、多様な任用制度の導入による人件費の適正化、更には、受益者負担の適正化など強い決意を持って行財政改革の推進に取組んできた。

こうした取組みを推進してきたことにより、令和元年度決算では、経常的経費の減少等による経常収支比率の改善につながったところである。

●新型コロナウイルス感染症対策事業に取り組む
「令和2年度一般会計補正予算(第6号)」…可決

●地域経済活性化を図る「まいづる地域商品券」発行事業を含む
「令和2年度一般会計補正予算(第7号)」…可決

●「舞鶴市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を
改正する条例制定について」…可決

令和元年度の一般会計等の決算、条例制定などの27議案を審議し、いずれも原案とおり承認・認定・可決しました。議員提案の新型コロナウイルス感染症に係る意見書2件、第80号議案に対する附帯決議1件を可決するとともに、請願1件については不採択としました。

一般質問
眞下 隆史

市民交流の場(各世代別)の創出について



[質問] 市民交流の場(成人世代)の創出について、舞鶴市は明確な趣旨のもと成人式の開催がなされているが、本市の成人式の在り方と、2022年を含めた今後の成人式を、何年度から・どの会場で・対象年齢は・何月に開催されるのか。

[答弁] 大人として節目となる記念すべき式典を行い、未来へ繋がる新たな歴史の一歩を、舞鶴でしか体験できない貴重な体験を胸に刻み、ふるさと舞鶴に誇りを持って頂き、ふるさとに愛着を持ち、住み続けたい、戻ってきてみたいと思える機会にすることを目的に、今後も赤れんがパークにて、1月の成人の日の時期に、20歳の方を対象に実施する。

[質問] 市民交流の場(50歳～60歳代)の創出について、50歳～60歳の年代は仕事の定年を控えて、第二の人生設計を模索する前準備が必要であり、また年齢を重ねることで税や行政との関わりが増えてくると考えられ、その分行政との関わりが増えることで住民と行政がタッグを組み、今後の自治体の活性化に繋げるため、友好な関係を構築することが重要と考えますが、確認のため、市が50歳～60歳の年代に対し、期待することや求めることとは何なのか伺う。

[答弁]若い世代を育成する立場として、まさにこれからの地域の中心になっていたい世代と考え、地域活動に参加していただく入口となる、様々な仕掛けづくりを検討していく。

一般質問
野瀬 貴則

土砂災害特別警戒区域の住民に周知徹底を求む



[質問] 平成26年に広島で発生した大規模な土砂災害を受け、全国で土砂災害防止法の改正が行われた。これにより本市では約1800箇所の土砂災害特別警戒区域、通常レッドゾーンが指定され、この区域に住む市民は土砂災害のリスクを意識し、災害時には命を守るために避難が必要である。しかし国土交通省のアンケートでは自宅がこの区域に含まれることを知っているのは、3割程度であった。本市では該当区域の住民に対して、どのように周知を行っているか問う。

[答弁] 本市では地域ごとに作成している土砂災害ハザードマップにおいてレッドゾーンを図示し、早めの避難行動が必要であることをホームページや防災ガイドブック、出前講座、自治会や自主防災組織等を通じて周知を行っている。

[質問] 本市のまちなかである市街化区域において、新たに市内・市外から引っ越しってきて建てた住宅で、浸水による水害が発生している。地域外の住民にはその土地の罹災リスクを事前に知ることは困難であり、何千万円という大金で購入した住宅がわずか数年で被災し、苦労されている。市から事前にその土地の災害リスクを周知できないうか。

[答弁] 今年度の法律改正により8月から不動産業者は取引時に洪水ハザードマップの浸水区域であることの事前説明が義務化された。市としてもこの洪水ハザードマップを活用して、浸水の恐れがある区域について引き続き周知に努める。

12月 定例会

会期(30日間)

11月26日～12月25日

出番表

11月26日 … コロナ対策事業に係る討論・眞下隆史
12月 8 日 … 2番・田畠篤子
12月 9 日 … 7番・野瀬貴則 / 12番・鯛 慶一
12月10日 … 16番・眞下隆史
12月25日 … 意見書討論・田畠篤子 / 本会議討論・水嶋一明
(最終日)



YouTube
映像配信あり

●第87号議案「令和2年度一般会計補正予算(第8号)」…可決

新型コロナウイルス感染症対策事業…3,155万円

●第88号議案「令和2年度一般会計補正予算(第9号)」…可決

令和2年度補正額…3億9,800万円

第89～第108号議案・第111号議案…可決

第109・第110号議案…同意

◆決議第2号 高浜発電所1、2号機の再稼働に関する決議…可決

◆意第5号 関西電力(株)高浜発電所1、2号機の再稼働に係る意見書…可決

コロナ対策事業に係る討論 | 真下 隆史

会派を代表して、本議会初日に提案された、新型コロナ感染症対策に関連し、早急な審査が必要とされた議案及び、12月当初に実施が必要な、市長及び副市長及び教育長及び職員給与に関する議案、計3件の議案に対し、賛成の立場を表明し討論する。

補正予算(第8号)では、地方自治体の原則・本旨である、住民自治と団体自治の機能が確実に行えるよう、新型コロナ禍においても議会が開催可能にするため、議事環境及びオンライン会議の環境整備や、モバイルパソコン等の導入をし、執行機関の提案と議会が持つ意思決定と監視機能を発揮するため、必要不可欠なものであり、賛成する。

議会としても、新型コロナ禍において施行不可能となった議会費の一部、政務活動費補助金を

減額補正し、コロナ禍における事業に活用頂くようお願いしたところである。

衛生費において、新型コロナウイルスワクチンの供給が可能になった場合に備え、舞鶴市民全員を想定し速やかに接種が行えるよう、事前に必要な体制を構築するもので、市民の皆さんの命を最優先に考え國の財源を有効に活用される事業として大いに評価する。

私はこれまでから一貫して、新型コロナ感染症の影響に対応し、全額國が対応すべきと訴えている。執行部におかれましては市民ニーズに対し、適切な事業を今後とも執行して頂きますようお願いし、賛成討論とする。



一般質問

田畠 篤子

1.市民病院での看護実習受け入れは



【質問】市民病院は、経営の安定により市民の監視の目は診療と看護の質を求める視点に変わると予測する。慢性期病床として地域医療に貢献する役割があり更なる企画・運営が求められる。市民病院は現在、実習病院としての受け入れをしていない。受け入れ施設は、ある一定の看護の質と基準が必要である。学生の実習は、臨床現場の質向上と活性化に繋がる絶好の機会でもある。今後の受け入れについてお伺いする。

【答弁】現在、実習指導者の育成も行い、体制整備に努めている。令和4年の実習受け入れに向けて準備している。

2.在宅療養の廃棄物処理について

【質問】以前に質問した項目である。在宅療養での破棄物は、持ち込みが原則であり、関係者から集積場での回収の希望があった。来年度のごみ処理改正において、変更はあるか。

【答弁】在宅療養での廃棄物は、週2回の集積場での回収となる。持ち込みに関して料金は免除である。現在の紙おむつ用の袋取扱いと同様である。

一般質問

上野 修身

指令センター共同運用の利点と課題は



【質問】総務省、消防庁において小規模な消防本部では保有する消防用車両や専門要員の確保に限界があることや財政運営面・組織管理での厳しさなど消防体制が十分でないとの判断から、平成6年「消防広域化基本計画」を策定、消防の広域化は、消防力の強化につながるとし全国に通達した。しかし、地域に密着した消防業務を実施しており、地元と消防の結びつきが強く、市と消防は一体であるべきなど広域化に反対の声も多く、直ちに広域化を進めるることは困難なことから、平成29年「市町村の消防の連携・協力に関する基本指針」を通知、消防事務の連携・協力の仕組みが創設された。今回提案の「京都府中・北部地域消防指令事務協議会の設置」これは、亀岡市以北の7市3町6消防本部で、指令センターを共同運用するための協議会を設置すると認識している。指令センター共同化の利点・課題について問う。

【答弁】利点として共同で整備することにより消防本部ごとの経費を大幅に低廉化、より充実した消防指令システムの運用が可能。また各消防本部の管轄区域を越えた相互応援協定に基づく災害出動が迅速に行える。課題として司令員に対する不慣れな地名からの通報、各消防本部の異なる出動態勢の対応などが負担と考える。

一般質問

水嶋 一明

1.高野川流域の治水工事の進捗状況について

【質問】1期計画区間(高野川河口～堀上橋)工事において、平成16年の台風23号程度の浸水被害は概ね解消軽減できる見込みとされている。そこで、河床掘削や護岸工事等の進捗状況を尋ねる。

【答弁】京都府は、河口から約360mの区間の河床掘削工事を実施。今年度から、国道175号線から新大橋まで約320mの西側用地取得についても、面積で約5割の契約が完了している。架け替えが必要となる大橋は、引き続き土質調査と高野川東側の国道175号線から新大橋までの区間の護岸補強工事に向け、発注準備をされている。

舞鶴市の内水対策は、大手ポンプ場の機械・電気設備工事及び静浜ポンプ場の工事の発注に向か準備している。

また、寺内ポンプ場の詳細設計等と寺内ポンプ場用地取得に取り組んでいる。

2.2期計画区間と区間外流域の治水整備について



【質問】2期計画区間で既設のフラップゲートが老朽化し、豪雨時に作動せず、床下浸水等の被害が発生した。

そこで、2期計画区間と区間外の整備や浚渫等について尋ねる。

【答弁】堀上橋から出雲谷橋までの2期区間及びその上流についても、1期区間を5年で完成をさせ、整備をしていく。

京都府は、少しでも浸水被害を軽減させるため緊急的に河川の浚渫を実施されている。本市は、昨年度2期区間の円隆寺橋周辺4か所にフラップゲートを設置、今年度も引き続き実施していく。

高野川の治水対策は、京都府と連携を図りながら地元の意見をお聞きし、鋭意事業推進に取り組んでいく。

意見書討論

田畠 篤子

新型コロナウイルス感染症に係る意見書



WHO=世界保健機関が新型コロナウイルスについて「世界的な大流行=パンデミックと言える」という認識を示したのは、ことし3月11日である。

世界の死者数は、三大感染症である、エイズ、マラリアの年間死者数を超え、結核にも迫る勢いであり100万人を超した。

厚生労働省は、国内で新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関の安定的な経営を図るために、緊急包括支援交付金を増額し、病床確保料の引上げ、すなわちこれまで3倍に上げたものを5倍に上げるとともに、10月以降の病床や宿泊療養施設を確保することとしている。

また、特定機能病院などの新型コロナ対応に係る診療報酬の引上げも行われ、更に、インフルエンザ流行期に備えた医療提供体制を確保するため、発熱患者等を対象とした外来体制をとる医療機関、また、コロナ疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関への支援等を行うこととしている。

不幸にも感染した方への偏見・差別の排除など、安全安心な暮らしへの喫緊な課題克服や、行政手続のオンライン化等、自治体への財政支援が急がれる現状である。

現下の状況を踏まえると一日の猶予もなく、早急に対応しなければならず、感染症の拡大防止を行いつつ、同時に日常を取り戻す「新しい生活様式」を見据えた取組を将来に向けて進めていく必要がある。

緊急的な対策のみならず、新たに発生した課題への対策に関して、長期的な視点に立ち、更なる継続的な復興策を実施する必要がある。

新政クラブ議員団は、先に提出致しました新型コロナウイルス感染症対策を求める意見書に加えて、意第4号に賛成し、討論とする。

本会議討論

今西 克己



新政クラブ議員団を代表し、本定例会に上程された第60号議案から第86号議案までの27件、全議案に対し、賛成の立場を表明し、主となる10議案に対し若干の意見・要望を付し、討論を行う。

第65号議案 令和元年度舞鶴市一般会計の決算の認定について、様々な事業に取組まれた結果、歳出総額は340億331万円、歳入については、償却資産の減少等により固定資産税は減少したものの、市民税等を含む市税収入全体としては増加となり、災害復旧を含む繰越事業の減少などによる繰越金、及び、臨時財政対策債などが減少、国庫支出金や府支出金の確保にも鋭意努めいただき、それぞれ増加し、343億5178万円を確保していただいた。

この結果、歳入・歳出差し引き残額は3億4846万円となり、令和2年度への繰越財源、2億7361万円を差し引いた実質収支額は7,485万円の黒字となった。歳入が減少する厳しい状況の中で、持続可能な財政運営がなされており、また、今期財政運営の指標ともなるべき財政力指数は、0.681で僅かに下降したが、財政の硬直度を示す経常収支比率は、前年度比1.7%減の93.9%と大幅に改善している。

令和元年度の財政運営は、厳しい状況の中、経常一般財源が減少することを見越した予算編成に努められ、人件費の抑制や、行政改革により効率的・効果的な行財政運営に努めいただき、適正に運営していただいたことを高く評価する。

代表質問でも申し述べたが、元年度は内閣府のSDGs未来都市、全国のモデルとなるSDGsモデル事業に選定され、舞鶴版SDGsの実現に向け、産官学金労言士との連携を更に深めていただいた。

今後においても、舞鶴版Society5.0 for SDGsを推進していただき、将来にわたり持続可能なまちづくりを進めていただくことを期待する。

一般質問

鍋 廉一

脱炭素社会への取組について



1.舞鶴市の取組について

【質問】第203回国会における菅内閣総理大臣の表明において、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする脱炭素社会の実現を目指すことを宣言された。舞鶴市は脱炭素社会の実現に向け、これまでどのように取り組んで来られたのか。また首相の所信表明を鑑みて、今後どのように取り組む計画なのかを問う。

【答弁】市役所では温室効果ガスの削減目標を定めた地球温暖化対策実行計画に基づき、太陽光パネル、LED証明の設置など、市内の事業者の模範となるよう取り組んでいる。今後は第3期舞鶴市環境基本計画や舞鶴市地域エネルギービジョンを今年度中に策定し、脱炭素社会の実現に向けた具体的な取組みを関係機関や関係団体と連携し、積極的に進めていく。

2.移動式水素ステーションについて

【質問】舞鶴市の大好きな課題として、燃料供給の施設である。現在舞鶴市内に水素ステーションはない中で、様々な場所で充填ができ、また固定式に比べて安価に施設が整えられる移動式小型水素ステーションを設置、または誘致をしてはどうか問う。

【答弁】移動式小型水素ステーションの設置については、「京都府水素社会みらいプロジェクト検討会議」の「物流拠点等燃料電池フォークリフト普及ワーキンググループ」で、舞鶴港湾周辺などが「フォークリフトの小規模のユーザーが集中し、移動式小型水素ステーション等を活用した水素巡回供給モデルの実証に適したエリア」とされ、実証事業開始に向か計画を策定中であり、その動向に注視する。

一般質問

田畠 篤子

関西電力(株)高浜発電1、2号機再稼働について



【質問】運転期間が40年を超える、高浜発電所1、2号機について、資源エネルギー庁の幹部が本市を訪れて再稼働の方針を説明し理解を求めたと聞いている。市長は、「40年超え運転は別格」とし立地する高浜町と同じ、再稼働への同意権や避難防災対策充実への支援を要請された。説明会において、資源エネルギー庁は「立地自治体と同様の対応をしてまいります」との回答だったと理解する。改めて、本市の基本的な考えについてお尋ねする。

【答弁】高浜発電所1.2号機の再稼働については、再生可能エネルギーが主力電源となるまではいかなる事情よりも安全性をすべてに優先させることを絶対条件に、一定の期間頼らざるを得ない。住民や市議会の意見等を十分に踏まえ、総合的に考慮しPAZに住民が暮らす自治体の長として、市全域がUPZに含まれる自治体の長として責任ある判断をしてまいりたいと考えている。

一般質問

野瀬 貴則

meemo実証実験の分析と再実験を求む



【質問】本市の2地域において免許返納者や高齢者を、近くに住む人々が空いた時間や自分の移動について送迎するという住民同士の助け合い、共助により移動サービスを実現するmeemo実証実験が行われた。スマートを使ってマッチングを行う全国初の取組であり、スマート操作への苦手意識など課題も多々あったが、地域と行政が共同し、共助によって地域の課題解決を模索する今回の取組により、多くの高齢者が新たな移動手段として利用し出かけることができ、生活を大きく充実させることができた。またドライバーには地域を良くしたいと思う人が集まり、地域の繋がりを強めることもできた。地元の参加者は今後も事業継続を望んでおり、機能を改善した上で更なる実証実験が必要である。実験結果をどのように分析しているか、さらに再度の実証実験の必要性を問う。

【答弁】高野地域と加佐地域の両地区において、利用者・ドライバー合わせて91名の方にご参加いただき、111回の送迎が実現した。実験終了後のアンケートでは利用者の75%がドライバーが地元の人で安心して利用できたとの回答であった。今後の展開についてはアプリ操作の煩雑さや住民送迎から路線バスへの乗り継ぎに対する課題の改善をしつつ、それぞれの地域特性や住民の移動特性もしっかりと分析し、実施時期や実証エリアなど関係者とよく協議・調整していく。

一般質問
眞下 隆史

クレインブリッジの復旧工事について



【質問】大浦地区にあります市道の舞鶴クレインブリッジが、本年9月29日から全面通行止めとなつたが、橋のどの部分にどういった損傷が発生したのか、具体的に説明をお願いする。また、大浦地区の多くの自治会や、関西電力火力発電所に大きく影響を与える事案であるため、全面通行止めを早急に実施しなければならなかつた理由と経緯をお伺いする。

【答弁】この橋は、2つの主塔から張られたケーブルと支承により橋桁を支える構造である。支承とは各主塔の橋桁の下に設置されており、平側の橋桁が温度変化による伸縮に対応している。この可動支承の計4本のローラーのうち3本が破断損傷している。今回の事象は全国でも前例がなく、安全確保を第一と市において判断し全面通行止めを実施した。

【質問】開通後約20年という速さで破損するものではないこと、補修に関しては再度同じ破損するわけにはいかないことが充分に理解できる。一番お聞きしたいことは、一日でも早く通行可能になるよう地元住民は望まれているので、今後復旧工事が完了し、通行止め解除を行う時期についてお伺いする。

【答弁】「舞鶴クレインブリッジ専門家会議」を設置し、ご意見を踏まえて年度内に市としての復旧方法を決定する。その後設計を行い工事発注するため、現在のところ通行止め解除の時期は未定である。

決議討論
田畠 篤子

高浜発電所1、2号機の再稼働に関する決議



日本のエネルギー政策においては、再生可能エネルギーを主力電源とする目標に向けて、脱炭素化社会を目指す上で、安全性を最優先とした上で安定供給できる原子力発電をベースロード電源であると位置付けている。昨今の、自然災害による大規模停電は、私たちに甚大な被害をもたらし経済的にも、生命を守る上からも、良質な電気エネルギーの安定供給の重要性を改めて実感いたしました。我が国において、再生可能エネルギーが主力電源となるまでは、福島第一原子力発電所事故を教訓に抜本的に見直された、世界でも最も厳しい水準の「新・規制基準」に適合すると国において認められた原子力発電所については、いかなる事情よりも安全性を全てに優先させることを絶対条件に、一定の期間頼らざるを得ないと認識している。

本市は、PAZに住民が居住し、全市がUPZに入り住民生活、地域経済など、建設当初からあらゆる面において高浜発電所と深く係る自治体である。高浜発電所1、2号機の再稼働については地元雇用、地域経済、住民の生活において大きな影響を及ぼし、地域の将来を左右する契機となる。このような地域の事情を踏まえ舞鶴市議会として国に対して立地自治体と同様の取り扱いや、避難路の環境整備、資器材の確保、インフラ整備等々、原子力防災の充実強化、住民への丁寧な説明を行うこと。

また、住民の安全を国が責任を持って確保することを前提として、新規制基準に適合し、国の責任と権限において地元自治体と多くの関係者との合意形成などを図り、安全性が確認された高浜発電所1、2号機の再稼働を容認する。

よって、決議第2号「高浜原子力1、2号機の再稼働に関する決議」案に賛成とする。

本会議討論 | 水嶋 一明

今12月定例会に上程された議案21件に賛成し討論を申し上げる。

まず、第89号議案令和2年度舞鶴市一般会計補正予算(第9号)については、補正額3億9千887万円の補正予算は、障害者グループホームの2施設において、日常生活を支援する予算5千148万円や、全面通行止めになっている舞鶴クレインブリッジを早期に復旧するための予算3千550万円、企業誘致実現プロジェクト事業に2千879万円に加え、当初予算を上回る需要からの増額補正など、現在実施されている事業を拡充する予算となっている。

収束の見えないコロナ禍の中、当初予算で計画されていた事業の実施が出来ないにもかかわらず、実施可能な事業を着実に展開されているので、賛成する。

次に第98号議案、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を新型コロナウイルス感染症の影響を受け、経営状況が悪化している中小企業者に対し交付する利子補給金の財源に充てるため、舞鶴市新型コロナウイルス感染症緊急特別対策利子補給金基金を設置するもので、

コロナ禍での市民を応援する改正であり、賛成する。

また、第100号議案 舞鶴市多世代交流施設条例制定については、このたび、子どもから高齢者までの全ての市民の世代を超えた幅広い交流及び社会的活動への参加を促進することにより、心豊かに暮らすことのできる地域社会の形成に資するために設置される多世代交流施設について必要な事項を定めるものであり、賛成する。

また、ウズコロナ、ビヨンドコロナ社会を見据え、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業、また、新型コロナウイルス感染症対策、まいづる冬グレメキャンペーン事業費補助など、まちを元気づける施策、また、市民の安全を守るために対策等が的確に推進されている、日々市長をはじめとする理事者や職員の皆様の労を多とし、今定例会に上程された全議案に賛成し、討論を終る。



新政クラブ議員団〔役割紹介〕



幹事長



幹事



副議長

舞鶴市議会の構成

1. 仕組みと構成

- 1) 地方は二元代表制
- 2) 国は議員内閣制
- 3) 現在議員は26名
- 4) 議員定数は議会が定めます

2. 議会

- ◎議長 ◎副議長 ◎監査委員

3. 会派

- ◎新政クラブ議員団 …… 7名
- ◎創政クラブ議員団 …… 7名
- ◎公明党議員団 …… 4名
- ◎日本共産党議員団 …… 4名
- ◎会派に所属しない議員 …… 4名



舞鶴市議会
ホームページ→



予算決算
委員会

議長を除く
全議員

常任
委員会

総務消防委員会



委員長

委員

産業建設委員会



副委員長

福祉健康委員会



委員

委員

市民文教委員会



委員長

委員

特別
委員会

1. 議会活性化特別委員会 … 水嶋 / 田畠 / 今西
2. 原子力防災・安全等特別委員会 … 真下 / 田畠
3. 市内造船業に関する調査特別委員会 … 上野 / 野瀬

4. 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

舞鶴市新型コロナウイルス感染症対策本部と常に連携し感染状況等、具体的な対策内容について市民目線で質疑し対応を講じると共に、必要に応じて、舞鶴市、京都府・国への要望を行う。タイムリーな活動が基本!

新型コロナウイルス 感染症

「緊急事態措置」が発出されました。

【区域】京都府全域

【期間】令和3年1月14日:0時～2月7日:24時

1. 外出の自粛
2. 催し物の開催制限
3. 施設の使用制限
4. 職場への出勤等
5. 大学等への要請

免疫力を
あげる
5ヶ条!

- ✓ まずは感染拡大予防! 感染者を増やさない!!
- ✓ 正しく恐れて正しく予防!
- ✓ 免疫力UPでコロナを寄せ付けない!
- ✓ 創意・工夫のある新しい生活様式を築く!



お一人おひとりの皆様の取り組みで感染拡大や医療崩壊
予防に努め舞鶴を守りましょう!

免疫力を上げるには?

睡眠、運動、体温上げて
食べ物、飲み物、腹8分目を
よく噛んで腸をいつも健康に



※詳細は舞鶴市ホームページ参照